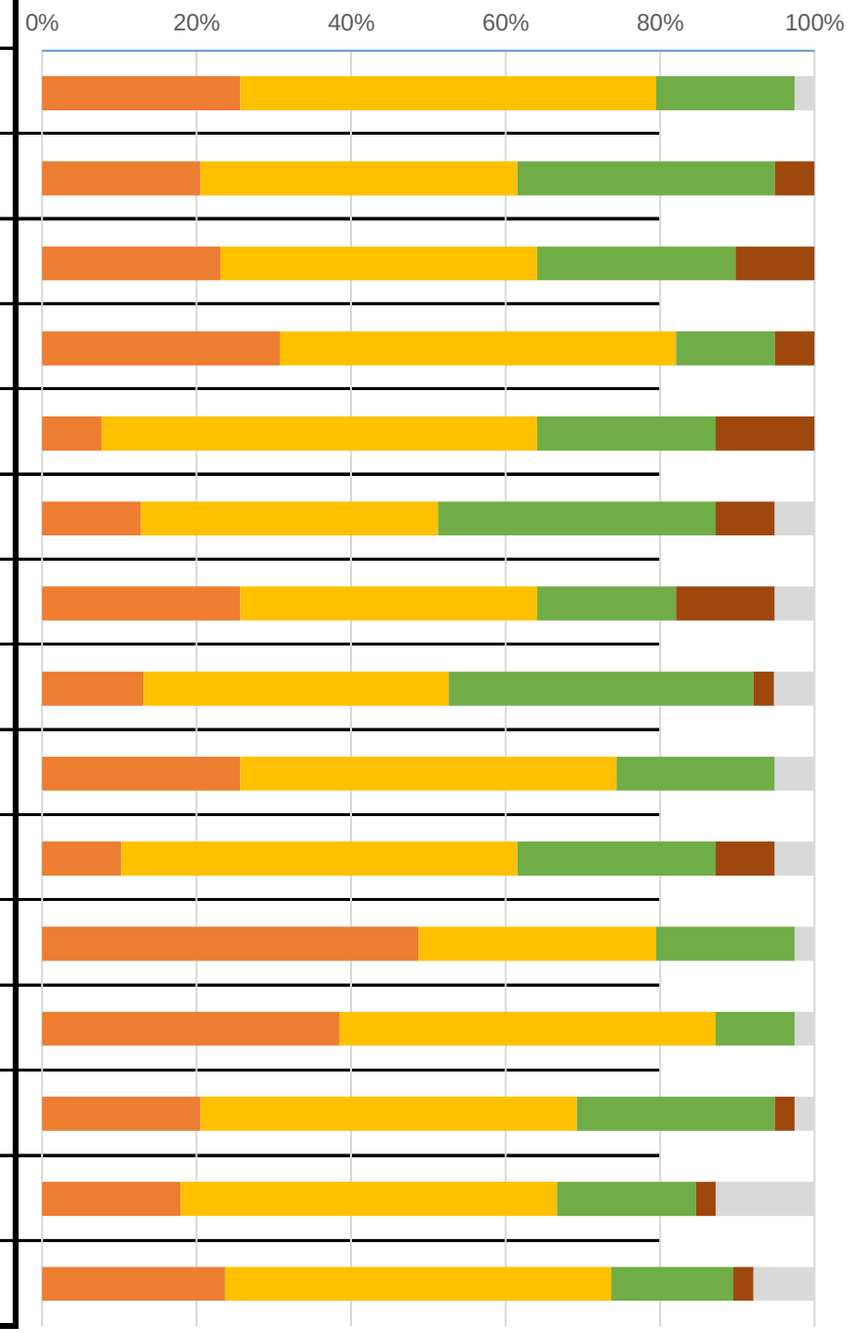
2020（令和2）年度　学校教育自己診断【教職員】

有効回答数　39　　実施 2020年11月下旬

		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない
1	各年度の教育計画について認識している	25.6%	53.8%	17.9%	0.0%	2.6%
2	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している	20.5%	41.0%	33.3%	5.1%	0.0%
3	学級経営の事案を事案により、担任団、学年団、学校全体で共有し、解決に取り組んでいる	23.1%	41.0%	25.6%	10.3%	0.0%
4	学校の教育課程について、教職員で話し合うことがある	30.8%	51.3%	12.8%	5.1%	0.0%
5	生徒の学力向上のため、学校全体で取り組みを行っている	7.7%	56.4%	23.1%	12.8%	0.0%
6	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度に生かしている	12.8%	38.5%	35.9%	7.7%	5.1%
7	成績評価のあり方について話し合う機会がある	25.6%	38.5%	17.9%	12.8%	5.1%
8	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法について、教職員で話し合う機会がある	13.2%	39.5%	39.5%	2.6%	5.3%
9	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる	25.6%	48.7%	20.5%	0.0%	5.1%
10	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、教職員間で話し合う機会がある	10.3%	51.3%	25.6%	7.7%	5.1%
11	生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	48.7%	30.8%	17.9%	0.0%	2.6%
12	教育相談体制が整備されており、生徒がいろいろな人と相談する機会が保障されている	38.5%	48.7%	10.3%	0.0%	2.6%
13	特別活動、学校行事等が生徒の育成につながるよう工夫、運営されている	20.5%	48.7%	25.6%	2.6%	2.6%
14	教育活動に必要な情報について保護者への周知に努めている	17.9%	48.7%	17.9%	2.6%	12.8%
15	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている	23.7%	50.0%	15.8%	2.6%	7.9%